

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号

63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。 1 充実した教科指導の徹底により、地域産業界から必要とされる人材の育成 2 基本的な生活態度の育成により、地域から愛される人材の育成 3 活発な部活動の推進により、地域から期待される活力ある人材の育成		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP） ・基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒 ・社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒 ・人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP） ・基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進 ・高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成 ・目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） ・目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指し、日々努力を重ねることができる生徒 ・誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒

3 評価する領域・分野	学校経営
4 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	保護者対象のアンケートでは「学校の教育方針や指導内容」「創造的・人間性豊かな生徒の育成」「健全な心身の育成」の項目において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると93～96%の高い評価をいただいている。また、96%の生徒が「教育方針をわかりやすく説明されている」と回答し、96%が本校に入学できてよかったと感じている。
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 組織と連携を大切にした教師集団及び働き方改革の推進 (2) スクール・ポリシーをふまえた教育活動の推進 (3) 商業、工業教育の推進（新教育課程への対応） (4) 教科指導と部活動指導の両立 (5) コロナ後の教育活動の充実（学校行事の実施）

6 重点目標を達成するための校内組織体制	・企画委員会 ・職員会議 ・各種委員会 ・商工専門部会 ・学校運営協議会
----------------------	--------------------------------------

7 目標達成のための具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標
(1) 組織対応の徹底と会議時間の短縮 (2) 専門科における地域との協働学習に向けての取組 (3) 部活動、生徒指導等による人間形成 (4) 本校の現状分析及び教育目標に準じた活動	(1) 先生方による評価及び勤務時間の短縮 (2) HP及び新聞記事及び課題研究発表会による (3) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート (4) 職員会議及び学校運営協議会による

9 取組状況・実践内容等	10 評価視点		11 評価
(1) 情報共有を密に行い、組織力を強化する。また、働き方改革の一つとして、会議時間の短縮につとめる。 (2) 地域活性化に向けた教育活動を推奨する。 (3) 挨拶などの対人マナーを励行するとともに、お互いを思いやる人間関係作りを実践する。 (4) コロナ・インフルエンザ感染防止対策を継続しながら、学校行事の実施を目指し取り組む。	(1) 組織での対応ができていたか。会議時間の短縮がなされたか。適正な勤務時間であったか。 (2) 商工の学習活動が地域貢献活動に結びついていたか。 (3) 基本的な生活習慣が身に付いているか。 (4) 組織で感染防止対策に取り組み、学校行事を行うことができたか。		A (B) C D (A) B C D A (B) C D (A) B C D

12 成果・課題	●働き方改革の一環として会議時間の短縮に努めたが、議事説明所要予定時間をあらかじめ担当者が検討しておくなどの具体的な取組の必要性を感じた。 ○次年度カリキュラムにおける商業科と工業科の連携など、一体となった学校の特色作りを検討できた。課題研究発表会が充実していた。 ○基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の徹底、部活動の一層の活性化、魅力ある学校づくりに努めることができた。 ○コロナ・インフルエンザ感染防止対策をしっかりと行い、球技大会、体育祭、文化	総合評価	A (B) C D
----------	---	------	-----------

祭、修学旅行などの行事を綿密な計画のもと、実施することができた。また部活動で一定の成果を残すことができた。

13 来年度に向けての改善方策案

- ・広報活動として、SNSを利用して迅速に情報発信を行える仕組みを構築し、志願者増を目指す。
- ・業務の精選と効率化を検討し、教職員の働き方改革を推進して、教育活動の活性化を図る。

II 学校関係者評価

実施年月 令和6年1月29日

【意見・要望・評価等】

学校行事が元に戻り、企業とのコラボレーションも充実するなど、教育方針等が生徒や保護者に理解され、地域にとって必要な学校として認知されていると感じる。

関市立の高等学校として、関市に貢献できる人材の育成と関市に学習の成果を還元する現在の取組を継続して行ってほしい。